



発行 古河市立三和東中学校
発行日 平成28年7月6日(水)
【スローガン:「keep the challenge」(未来への挑戦)】 H P sanwahigashi.koga.ed.jp/

キャリア教育を推進しています!

～生徒の社会的・職業的自立の基盤となる能力の育成を目指して～

キャリア教育は、生徒の社会的・職業的自立のために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的働きかけです。そして、この働きかけにとって重要なことは、自らの力で生き方を選択していくことができる能力や態度を身に付けることです。本校では、

①人間関係形成能力(自他の理解、コミュニケーション)、②情報活用能力(情報収集、職業理解)、③将来設計能力(役割把握、計画実行)、④意思決定能力(課題選択、課題解決)の4領域8能力のバランスのよい育成を目指し、年間計画に基づいて、計画的にキャリア教育を推進しています。6月22日(水)、29日(水)には、総合的な学習の時間に、(株)リクルート、(株)日本生命、(株)日野自動車の外部



(株)リクルートの説明



(株)日本生命の説明

講師による職業講話を通して、職業と進路選択について考えました。これからの社会人に求められる能力は、次の3つです。

- ① 絶え間ない変化に対し、学び続けること ⇒ 考え抜く力(シンキング)
- ② 自ら考え、選択し、行動すること ⇒ 前に踏み出す力(アクション)
- ③ 多様な価値観や文化に対応すること ⇒ チームで働く力(チームワーク)

3年間の学習を通して、培っていきましょう。ご家庭でもお子さんの将来就きたい職業について、話題にしてみてください。

情報化や価値の多様化への対応

～文部科学省生涯学習局、県教育委員会が視察訪問～

生徒たちを巡る環境は、情報化や価値の多様化も含めてどんどん変化しており、学校はこれまで以上にさまざまな課題を抱えていることから、教育委員会や地域等の力を借りて学校を支援していくことが求められるようになりました。古河市では、地域住民からサポーターを募集し、放課後学習支援事業(古河塾)を展開することで、生徒の学び直しの一助としています。本校における古河塾は、月・水曜日に実施し、約50名の生徒が(株)リクルート提供の学習教材「スタディサプリ」をタブレットを使用して学習に取り組んでいます。



古河塾を視察する文科省職員

市教育委員会と企業、学校が連携した放課後学習支援は全国でも例がない取組です。このような経緯を踏まえ、今後の国や県の施策に生かすために、文部科学省生涯学習局や県教育委員会生涯学習課の皆様が本校の古河塾の様子を視察訪問しました。視察の皆様は、タブレット機器を使いこなし、学習に取り組む生徒の様子に感嘆していました。

総合体育大会県西地区大会の結果!

7月1日(金)、2日(土)に開催された総体県西地区大会では、たくさんの応援をありがとうございました。市内大会、県西地区大会を通して、3年生を中心に、協力することの大切さや信頼、礼儀等、日常生活や社会生活に必要な多くのことを体感することができました。なお、県大会出場者は次のとおりです。活躍を期待します。



県西大会の1コマ

- ◇陸上競技(走幅跳び) ……個人(今田 大哉さん)
- ◇水泳競技(200m平泳、個人メドレー) ……個人(松沼 翔大さん)

「人権の大切さ」

VTR視聴の様子



人権擁護委員 佐山 真宏 様
いじめを題材にしたVTRを視聴した後、人権について考えました。いじめを止めさせることは大変勇気のいる行動ですが、VTR視聴は相手を思いやる気持ちをもつことの大切さを生徒が再確認し、身のまわりの人権問題に目を向けるためのよい機会となりました。人権は、人間が人間らしく生きる権利であり、憲法の条文の中でも基本的人権の尊重が明文化されています。人権擁護委員は法務局職員と連携し、必要に応じて「調整」や「援助」など、いじめの被害者救済活動を展開しています。教職員や保護者ではない第三者的な立場からの仲介は、いじめの深刻化に歯止めをかける効果を発揮しています。

「騙されないで! 合法ハーブ、アロマ……」

法律で禁止されている薬物を使用したり、医薬品を本来の目的以外に活用することは認められていません。これらの行為は、脳を破壊します。10歳代の脳は薬物の影響を受けやすく、一度破壊された脳は二度ともとに戻ることはありません。よく知られているフラッシュバックは、その人に一生つきまとう症状になります。脱法ドラッグは、人体に有害な成分を含んでおり、興味本位で一度使っただけでも、心と体が破壊されてしまい、元の健康な生活ができなくなるおそれがあります。成分分析表がなかったり、危険な薬物に見せないように綺麗な色をしているのが特徴です。勧められた時は、はっきりと断り、警察に通報しましょう。

人権擁護委員 鈴木 務 様



講話を聞く生徒

「正しい進路選択について」

進路説明会の様子



茨城県立高等学校職員 様
本校から比較的多くの生徒が進学する下妻第一、境、三和、八千代、古河第一、古河第二、古河第三、総和工業の先生方にご来校いただき進路説明会を開催しました。進路選択において重要なことは、自分の特性を知り、自分を生かす道を探ることです。世の中には多くの職業があり、その職業に就くために必要な資格や学歴、経験はさまざまです。高等学校を選択する際、卒業生の進学や就職の状況、取得できる資格など、夏休みを活用して調べておく必要があります。また、進学にあたっては学習成績だけでなく、欠席や遅刻などの生活習慣も大きなウェイトを占めます。夏休みを有意義に活用しましょう。

進学したい高校の特色と学校の仕組み、勉強内容を詳しく知ることができたのでよかった。メモを取ることで、4校の部活動や学校行事などを比較することができて、今後の進路選択に大変参考になった。これから、精神力を高め、勉強を頑張っていきたい。(生徒の感想)